

第 25 回番組審議会議事録

- 1 . 開催年月日 平成 22 年 7 月 29 日(木) 午前 10 : 00 ~ 11 : 30
- 2 . 開催場所 箕面市船場東 2-5-47 COM 3 号館 5 階 COM 倶楽部会議室
- 3 . 委員の出席 委員総数 10 名
出席委員 7 名
出席委員の氏名 稲垣千秋、牧野直子、井上光央、稲井信也、
中 宏、中村 保、高谷和彦
以上 7 名
放送事業者側出席氏名 尾池 良行 (代表取締役)
岡田 堅治 (取締役)
大平麻由美 (編成課長)
野間 耕平 (編成課員)
丸橋 純子 (編成課員)
- 4 . 議 題 1) 番組 タッキー C ネットだより「部長ブログ編」
2) 番組 消費生活 Q & A ~なるゾ!かしこい箕面人~
3) 番組 子育てすこやか通信
4) 他の番組について
- 5 . 議事の概要 社長挨拶の後、稲垣委員長が議長となり、委員 7 名の審議となる。

6. 審議内容

1) 番組

(1) 事務局より番組説明

おはようございます。今回はとても短い番組ですが、3本御試聴いただきました。ひとつは「タッキーCネットだより部長ブログ編」で、「タッキーCネットだより」は平日の朝、月曜日から木曜日まで毎朝放送していますが、そのうち月曜日の「タッキーCネットだより」には箕面市の部長さんたちにご出演いただいております。もうひとつは「消費生活Q&A なるゾ!かしこい箕面人」で、この4月からスタートしました。消費者庁ができた関係で、そこからの消費生活に関する情報を市民や国民のみなさんに啓発するという目的で、消費者庁が各都道府県、行政に補助金を出しており、その補助金を活用した番組です。あともうひとつは「子育てすこやか通信」で、倉田市長が子育てしやすさ日本一を打ち出しておりますので、そういった観点から子育てに関する情報をタッキーから発信していこうということでスタートいたしました。昨年度から隔月で子育て番組を始めてはありましたが、今年度から毎週・毎月という形でスタートしております。この3本を聴いていただきました。よろしくお願いいいたします。

(2) 審議

委員長：ありがとうございます。みなさま聴いていただいたことと思います。これについてみなさんのご意見をいただきながら進めて行きたいと思っております。

委員：まず、「部長ブログ編」は初めての出演ということで自己紹介から始まり、そういった意味では親しみやすかったですが、逆に言うと単なるブログの紹介なんですよ。

私はここで聞きたかったことはあまり聞けませんでした。聞きたいことは、初めての教育長としてどういう方針であるとか、基本的なことだとか...体力向上のためにマラソンをしたり、縄とびをしたりということですが、何故それが必要なのか？母親たちは学校の勉強などであれば点数で目に見えるのでわかりやすいですが、子どもたちにとって体力向上が何故必要なのかと言うことがキッチリ伝わらないと、学校を離れた時に進展していかないので、もっとその辺りを熱く語っても

らう時間が欲しかった。

それにはもっと短縮して、自己紹介などは絞っても良かったと思う。後半でも同じようなことが言えるが、声を通じて何を伝えたいか、伝えていくのか、あるいは行政との間でも伝えたいことをはっきりさせないと、ただブログに書いてあることを紹介しても、無いよりは良いと言うようなイメージだった。この辺りは基本的な所なのでお願いしたいと思う。

次の「消費生活Q & A なるゾ!かしこい箕面人」はクイズ形式で、ある意味親しみやすかったし楽しく聴くことができました。

最後に、「子育てすこやか通信」については、これからますますこういう番組は必要だと思いますが、事例もたくさん有るなかで、答える方も淡々と答えているのではっきり言ってリアリティ感や臨場感が全くなかった。少し事例を絞ってでも、こことここをもっと気をつけようと言う臨場感が出ればなお良かったという印象で聴きました。

委員長：時間的には5分間では短いですか？

委員：いいえ。5分で良いが、次々と母親が事例を出し、答える方も淡々と答えているので。あれだけなら、文章を読んだらわかるという感じ。もっとケースを絞り、臨場感やリアリティ感がないとせっかくのラジオで伝える意味が少し薄れるのではないかというイメージでした。

委員長：(事務局へ質問)「部長ブログ編」については、インタビューする側の聞くテクニックなどで多少そういった問題は解決しますか？質問はある程度準備しているのですか？次々にこういう事を聞かなければいけないという意識があるのですか？答えに対してすぐに「そうですね」と取らずに少しそこで突っ込んで聞いて欲しいが、やはり10では難しい。その間にあれも聞かなければいけない、これも聞かなければいけないという気持ちがあったのではないかという印象を受けました。

最近のラジオはみんなそうなのですが、昔からラジオをよく聴いていらっしゃるかたは、最近のラジオは普通のことのしゃべりが多すぎると言っています。

昔のアナウンサーさんは、テレビのない時代ですから、喋ると言う事は描写がなければ...と。最近は描写が無いように思います。例えば野球の放送をラジオで聴いていてもわかると思いますが、バッターがボールを打った時などの「カーン」と言う打球音が今は入った事が無いように思

います。ワーッと沸くので確かにお客さんがうるさいと言う事もあります。以前はカーンと言う音が入ってきたのですが、その音によって打球がどこへ行ったか想像出来たのですが、今はそういうのが無くなった様に思います。

委員長：そうですね。直接その背景を言わなくても言葉の中から背景を想像させると言う事をなさってましたよね。

事務局：「部長ブログ編」に関しましては、質問事項と言うのは特にお渡ししておりません。ただ、打ち合わせの段階で、今1番市民のかたに発信したい事は？と伺っても、部長さんたちの中には特にないとおっしゃるかたもおられ、その辺りですごく苦労しています。私たちもとても残念ですがパーソナリティ側が色々問いかけていかないと困ってしまうのではないかと言う気持ちが働いているのかもしれない。ただ、やはり本番になりますと部長さんクラスですのでそれなりにちゃんとお話はしてくださいるかたが大半です。

委員長：短い時間の中で色々されるのは大変かと思いますが、先ほど良い意見をいただきましたので、現場で参考にさせていただいてよろしく願います。

委員：質問が次へ次へと行かなければならないのはわかるのですが、年寄りについては行けないので、よろしく願います。

委員：「部長ブログ」に関してですが、部長の部屋からの風景ですとか見て知っているものは大変よくわかっています。足らなかったのは、部長が最初に全国学力調査、体力調査の結果を得てと言う事を言わないと。そこが抜けているから勘違いが起こるのです。その調査を受けて、箕面市は学力は良いのだけれども体力が落ちていると言う結果が出ているから、部長や市長が一所懸命体力をつけたいと言う方向に働いていると言うのは事実であるのだから、その辺をちゃんと説明してから自分の意見を発言し、取り組みはこうしていると言う事を言っていただけたら大変よくわかったのではないかと思います。教育長の人となりなどはよく出ていたのでその辺は大変聴きやすかったのではないかと思います。ただ、この放送を流す時間帯が8時40分からと聞き、誰が聴くのかと言う疑

問はあります。その辺が少し問題かと思えます。

次の「消費生活」は、5分でよく充実していてまとまっていたと思いますし、明快な内容で大変よくわかりました。アナウンスをされているかたのトーンも良かったと思います。話す人によって影響があるなど言うことを感じました。

次に「子育て」ですが、少しせわしなかったと言うのもありますが、現在は地域の希薄化と言うのが進んでおり、子育てをされている方は地域の老人や経験者にすぎるのが一番よく回答が得られるのではないかと思います。今の状態では少しできにくいとので、こう言った内容の放送は大変良いと思います。

できれば、こういう事項の時にはこういう対処の仕方がありますと言う発信の方法があったり、冊子になったりだとか周知出来るような方法が考えられれば、最高に良いなと思いました。

委員：今回聴かせて頂いたなかで、「消費生活」と「子育て」は直接市民の生活に関わっていることなので、この放送1回こっきりにするのは勿体ないと思いました。全体的に放送としてもわかり易かったし、良くできていると思ったが、もう少し「箕面らしさ」があった方がおもしろいかなと思いました。ただ、こういうのに「箕面らしさ」と言うのが出来るのかどうかはわかりませんが…。ただ、この内容は今後も積み上げていけるものですし、ホームページの中にコーナーを作ってクリックしたら困っている人が見られるようにするとか、本を作って配るようにしても良いかなと思うような大事な内容だと思いました。

「部長ブログ編」は、部長にしても、教育長にしてもやはりお話されるには市民が興味を持つような内容に置き換え無ければいけないと言うか、どういった視点で聴いてくださっているのか、もう少しタッキーさんで砕いて、そして、市民が興味を持ちそうな話を1つで良いと思うので特化させておもしろおかしくしてあげないと。今回聴かせていただいた10分だけの内容で言うと、ナレーターのかたが少し取り過ぎているかなと言う印象を受けました。

「消費生活」と「子育て」に関しては、放送だけで終わってしまうのではなくて残していくように、例えばホームページ上に残していつでも文字で見られるようにするなどということをするれば良いと思います。全体的にはもう少し箕面らしさを出しても良いのかなと思いました。

あと、全体的な録音のバラつきがあったのは気になりました。

委員 長： 今後は情報紙などにうまく組み込めるようなことができれば、広げていただけたらと思います。1つの参考意見としてください。

事務局： はい。情報紙「まちの情報箱」に小さなコーナーを設けています。

委員 長： これをもう少し考えて、シリーズ化していただけたら効果的になるか
と思います。

委員： 私は「消費生活」が特に気に入っておりました。短時間でよくやられてるなと思って何回も聴かせていただきました。ただ、放送時間の件でこの放送時間帯が本当に良いのかなと言う気がします。家庭のかたが、朝、旦那さんを送り出して掃除も片付けも終わった、一息つく時間がこの辺なのかなと言う気がするのですが。1回きりと言う話もありましたように、これは夜の部に再放送していただいて、1日1回でも多く流していただけたら、確かにかしこい箕面人が一人でも多く誕生するのかな。また加えて出来ればタッキーのホームページの中で整理されたらわかり易いかなと言う感じはしました。

事務局： 水曜日の夕方と土曜日の午前中に再放送しております。

委員： 「あ、あの時聴き逃したな」と思っても「また週末に聴けるな」と言うことは、リスナーで普段良く聴いていただいている人なら理解し易いのですが、単発で聴かれてようなケースの時に、聴き逃してもタッキーのホームページを見たら掲載されているという感じで活用できればよりこの番組が生きてくるのではないかと思いました。

委員： NHKの深夜番組じゃないけれど、1週遅れで、2週間続けてパソコンでも聴ける。そういったこともおやりになっているのですか？放送当日に聴けなかったという場合でも、来週パソコンで利用できるということはやってらっしゃらないのですか？

事務局： インターネットではやっていません。

委員： タッキーを聴いていたらこれだけ親切にやってくれと、なんかそういった事があれば良いなと思います。聴くと言う事は癖になります。

委員：私も「消費生活」はとてもコンパクトでよくまとめられていて良いなと思いました。意外性もあるし、ただ説明と解説だけだったらおもしろくないのですが、3択クイズにすると自分でもどれだろうと思ったりするので、その後に意外な答えが返ってきたら「え？」など思ったりします。今回は契約書の件でしたが、とても印象に残ってとても楽しかったです。「子育て」も、内容を絞ってということもありますが、同じ様な子育て世代のかたがこんな事でもあんな事でも悩んでいるということで身近に感じられるのではないかなと思いました。こういった小さな情報ですが、有効な情報、生活情報を、今まで蓄積されたものをどの様にフィードバックして活かしていくかと言う時に再放送っておっしゃいましたけど、再放送も同じツールなのでそれよりも違う媒体などを通して、せっかく得た情報を市民のかたに還元する方法を考えていただきたいと思いました。例えば子育て支援センターでタッキーさんが得た情報を子育て中のかたがたに、流したい情報を市民が集まっているところに配達してあげると言うか、インターネットもなかなかされない場合があるので、何か良いかたちで工夫して伝えていただけるとなお活かされるのではないかなと思いました。

「部長ブログ編」については、他の部長の場合は市長の傘下の元に執行機関としての立場で話されると思いますが、今回はたまたま教育長だったので、教育委員会と言うのは独立した機関ですので、やはり教育委員会についてはもう少し時間を取って、部長に中の1人という事ではなく、教育委員会と言う組織があって、5人の教育委員が居られて、毎回定例委員会が開かれていて、それは市民のかたももちろん傍聴できますと言うような基礎的な情報をまず発信していただきたいかったです。

委員：「部長ブログ編」は順番に各部長さんと呼んでされているのですか？先程もありましたが何を1番訴えたいか、伝えたいか...10分間の間と言うのは、タッキーとしてもそうですし、部長さんご自身もしっかり持っていただきたいと思いました。

委員長：ありがとうございました。その他の番組についてのご意見も併せていただけたらと思います。

委員長：番組のチェックしたり、意見を言ったりしていただく会と、新たに合併したまちづくり事業の部分、それに対しての色々なご意見をいただく...そう言った会もこれから必要でしょうね。

委員：私は「タッキー」さんに前から思っていたのですが、大手の放送局と比較しても仕方が無いのですが、ただおもしろいやり方と言うのは、社会的にどういう視点で目を向けてラジオをやっているんだと言う所を、イベントとして大きなスペースを借りていわゆる放送とは別予算でされていた事があって、私は「タッキー」さんが立ちあがった時にイベントもやって行くのですよねと言った事もあるのですが...

ラジオはラジオで聴いてもらうだけの形態をしていたらダメなのかなと言うのは、最近またひしひしと感じています。やはり目立つ所で目立つやり方で「タッキー」の存在箕面にありきと言うイベントを打っていくべきだと思います。例えばラジオウォークとか。ラジオ局ってこんな変わったことをするのかと...ビックリしました。

委員：まちづくり会社と合併ということで、いわゆる駅前の活性を考える中で、なんと言っても瀧道が自然も歴史もたっぷりある中で、そこに「タッキー」さんが入ると言う事は、それこそラジオウォークじゃないけれど1日かけて、もちろん放送も流しながら、少しお金がかかるかもしれませんが、それなりに人を呼べるタレントさん呼んでイベントをやったら、年に1回の楽しみとしての事業が出来るのでは？1つの提案ですけれども。

委員：以前、ここでファンづくりをどうやってやろうかと提案しました。その進捗状況や検討状況を聞きたいのですが。

事務局：ファンづくりに関しては、「友の会」など他局の現状は調べましたが、その後、会社が合併や広報紙の仕事が入って来て、進んでいないのが現状です。

委員：以前も言ったように、やはり本当に必要になってくるのはファン。スポンサーでもリスナーでもないのです。ここだけは、ちゃんときちっと捉えてどうやって行くかを考えないと、いざとなった時にファンをどれだけ抱えているかと言うのがポイントになってくると思います。

事務局：わかりました。

事務局：ラジオにこだわらず地域のメディアとしてタッキーを応援していただけるような仕組みづくりとということですか？

委員長：そうですね。番組としては、より一層いま以上のことを考えて進んではいるのですが、なにぶんにも株式会社のことなので、利益を上げてやっていかなければならないので、その辺の矛盾も多少あるかと思いますが、そこを何とかバランスを取りながらやっていきたいと思います。合併後、まちづくり事業も入ってきますし、プラスでファンづくりを進めていったらどうかと思います。今日は長時間ありがとうございました。

7. 審議機関の答申または改善意見に対して措置および年月日

なし

8. 審議機関の答申または意見の概要を公表した場所における公表内容、方法

自社放送

事務所への備置

ホームページ (<http://fm.minoh.net/>)

上記事項を明確にするため、この議事録を作成する。

平成 22 年 7 月 29 日

箕面 F M まちそだて株式会社

番組審議会